

岡垣町ごみステーションの設置及び管理に関する要綱

(目的)

第1条 この要綱は、岡垣町内におけるごみステーションの新設、移設、仮設、廃止(以下「設置等」という。)及び管理について必要な事項を定めることにより、町民の快適な生活環境の保全と町内で発生するごみを安全かつ効率的に収集することを目的とする。

(定義)

第2条 この要綱における用語の意義は、法令その他別に定めがあるもののほか、次の各号に定めるところによる。

- (1) ごみステーション 遠賀・中間地域広域行政事務組合廃棄物の減量推進及び適正処理等に関する条例（平成19年条例第4号）第4条第2項に定める集積所をいう。
- (2) 排出者 ごみをごみステーションに排出する者をいう。
- (3) 共同住宅 2戸以上の住戸を有する建築物をいう。
- (4) 開発事業者 住宅地等を開発する者をいう。

(設置基準)

第3条 設置するごみステーションは、次の要件を満たしていなければならない。

- (1) 設置場所は、道路に接している、又は道路上の通行等に支障がない場所であること。
- (2) 設置場所の土地所有者又は道路管理者の合意を得ていること。
- (3) 収集車両が容易に停車でき、収集員が安全に作業できる場所であること。
- (4) 設置規模は、概ね10世帯当たり1か所とし、遠賀・中間地域広域行政事務組合(以下「組合」という。)が指定する家庭用指定袋の燃えるごみ(大)1袋分のごみを各世帯が排出できる規模であること。ただし、1か所当たりの利用世帯数は、該当地域の実情に応じて増減することができる。

(ごみステーションの利用)

第4条 ごみステーションは、誰でも等しく利用することができる。ただし、組合が定めた方法によりごみを排出するときその他町長が認めるときに限り、利用することができる。

2 排出者は、最寄りのごみステーションを利用することを基本とする。ただし、他の排出者又は近隣関係者等との協議の結果、別のごみステーションを利用することが適切であると判断されたときは、この限りでない。

(排出者の責務)

第5条 排出者は、ごみステーションを利用するときは、次の事項を遵守しなければならない。

- (1) 組合が定めた方法によりごみを排出すること。
- (2) 他の排出者と協力してごみステーションの管理を行い、当該ごみステーション及びその周辺を清潔に保つこと。
- (3) ネット等の資材を使用し、ごみの散乱防止に努めること。
- (4) 組合が定めた方法を満たしていないごみ（以下「違反ごみ」という。）は、当該違反ごみの排出者自らが速やかにごみステーションから撤去すること。

(開発事業者の責務)

第6条 開発事業者は、あらかじめ町及び自治区と協議を行い、居住者数に応じた規模のごみステーションを当該敷地内に設置等を行わなければならない。ただし、町及び自治区と調整した結果、当該敷地外にごみステーションの設置等を行い、又は近隣の既存のごみステーションを利用して差し支えないと判断されたときは、この限りでない。

(共同住宅の所有者の責務)

第7条 共同住宅の所有者は、前条の規定を準用するほか、次の事項を遵守しなければならない。

- (1) ごみステーションの管理を行い、当該ごみステーション及びその周辺を清潔に保つこと。
- (2) ごみの分別区分、排出日時、排出場所及び排出方法等を居住者に周知するとともに、違反ごみは、当該違反ごみの排出者自らが速やかにごみステーションから撤去し、組合が定めた方法で排出し直すよう促すこと。
- (3) ごみステーション内において居住者が違反ごみを撤去しないときは、当該違反ごみの撤去を行うこと。
- (4) ごみ収集を円滑に行うため、ごみステーション周辺の駐車防止策及び障害物の撤去を行うこと。

(自治区の役割)

第8条 自治区は、住民間のトラブルの防止、円滑な運営並びに災害時及び緊急時の対応等を勘案し、当該行政区内のごみステーションの位置を把握するとともに、排出者、共同住宅の所有者、開発事業者（以下「排出者等」という。）及び町との調整に努めるものとする。

(届出)

第9条 自治区は、排出者等からごみステーションの設置等の申出があったときは、当該ごみステーションに係る排出者等の合意確認及び町との事前協議を行った上で、設置等開始日の2週間前までにごみステーション設置等届出書（様式第1号）を町長に届け出なければならない。

（調査）

第10条 町長は、この要綱の目的を達成するために必要があるときは、関係者に立会いを求め、現地調査を行うことができる。

（助言及び指導）

第11条 町長は、ごみステーションの設置等及び管理に関し、助言及び指導を行うことができる。

（排出されたごみの持ち出し禁止）

第12条 組合、町及びこれらが指定する者以外の者は、ごみステーションに排出されたごみを当該ごみステーションの外に持ち出してはならない。ただし、排出者が自ら排出したごみを回収するときは、この限りでない。

（紛争の解決）

第13条 ごみステーションの設置等及び管理に関し、近隣住民等との間に紛争が生じたときは、排出者等が自主的に解決するよう努めなければならない。

（その他）

第14条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、町長が別に定める。

附 則

（施行期日）

1 この要綱は、令和6年10月1日から施行する。

（経過措置）

2 この要綱の施行の際現に設置されているごみステーションは、この要綱の規定により設置されたものとみなす。